

きた住まいるサポートシステム アップデートの概要

(適用開始日：令和3年1月19日)

「北方型住宅 2020」の登録保管が可能になりました。

- ・新築住宅の「きた住まいるブランド住宅」として、これまでの「北方型住宅」、「北方型住宅 ECO」に加えて、新たに「北方型住宅 2020」の登録保管が可能になりました。
- ・北方型住宅 2020 として登録保管する場合、入力作業簡略化の観点などから、主に基準への適合状況を確認する方法等を見直し、北方型住宅や北方型住宅 ECO の場合と比較して、入力項目などを以下のとおり変更しています。

＜入力項目等の変更箇所＞ -住宅のブランド（基準）ごとの比較-

- ・「北方型住宅 2020」、「北方型住宅 ECO」、「北方型住宅」は、きた住まいるメンバーが設計、施工の両方を行う「きた住まいるブランド住宅」として登録保管されるものです。
- ・設計または施工のいずれか一方だけが、きた住まいるメンバーであるなどの場合は、「北方型住宅 2020 水準」、「北方型住宅 ECO 水準」、「北方型住宅水準」として保管されます。
- ・「その他の新築住宅」は、上記のいずれにも属さない住宅の種類です。

項目	北方型住宅 2020	北方型住宅・北方型住宅 ECO		その他の新築住宅	
	※北方型住宅 2020 水準を含む	※北方型住宅水準・北方型住宅 ECO 水準を含む		R3.1.19～	R3.1.18 まで
	R3.1.19～	R3.1.19～	R3.1.18 まで	R3.1.19～	R3.1.18 まで
設計図書等の保管	＜必須＞ ・付近見取図 ・床面積求積図 ・ <u>配置図</u> ・各階平面図 ・立面図 ・断面図 ・平面詳細図 ・矩計図・断面詳細図 ・ <u>構造計算書(壁量計算書合)</u> ・電気設備図 ・給排水衛生設備図 ・暖房換気設備図 ・ <u>構造詳細図</u> ・各階伏図 ・維持保全計画	＜必須＞ ・付近見取図 ・床面積求積図 ・ <u>配置図</u> ・各階平面図 ・立面図 ・断面図 ・平面詳細図 ・矩計図・断面詳細図 ・ <u>構造計算書(壁量計算書合)</u> ・電気設備図 ・ <u>構造詳細図</u> ・ <u>各階伏図又はプレカト図</u> ・維持保全計画	＜必須＞ ・付近見取図 ・床面積求積図 ・ <u>配置図</u> ・各階平面図 ・立面図 ・断面図 ・平面詳細図 ・矩計図・断面詳細図 ・ <u>構造計算書(壁量計算書合)</u> ・電気設備図 ・ <u>構造詳細図</u> ・維持保全計画	＜必須＞(注) ・ <u>配置図</u> ・ <u>各階平面図</u> ・ <u>立面図</u> ・ <u>断面図</u> ・ <u>構造計算書(壁量計算書合)</u> ・ <u>構造詳細図</u> ・ <u>各階伏図又はプレカト図</u>	＜必須＞ なし
青字：建築士法で保存が義務となっている設計図書 アンダーライン：住宅のブランド（基準）ごとの変更箇所 (注)：「その他の新築住宅」の場合、各設計図書等の保管が必須となりますが、システムの都合により、当面はシステム上でのチェックを行いません。システム上でのチェックの開始時期等については、別途お知らせします。					
建築確認関係書類の保管	＜必須＞ 確認済証、検査済証等 (建築確認が必要な場合)	＜必須＞ 確認済証、検査済証等 (<u>建築確認が必要な場合</u>)	＜必須＞ なし	＜必須＞ 確認済証、検査済証等 (<u>建築確認が必要な場合</u>)	＜必須＞ なし

項目	北方型住宅 2020 ※北方型住宅 2020 水準を含む	北方型住宅・北方型住宅 ECO ※北方型住宅水準・北方型住宅 ECO 水準を含む		その他の新築住宅	
	R3.1.19～	R3.1.19～	R3.1.18 まで	R3.1.19～	R3.1.18 まで
「北方型住宅基準」(必須基準)の適合状況の確認方法	<p>基準に適合することが確認できる各種認定書(※)や図面などの資料を添付することで、詳細な数値などの入力作業を簡略化。</p> <p>(※)例えば以下の認定書等を添付することで基準適合の根拠資料とできます。認定書がない場合は、基準に適合することが確認できる図面や計算書等を添付することになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期優良住宅認定書・設計住宅性能評価書 ・建設住宅性能評価書・BELS 評価書 	基準ごとに数値などの詳細な情報を入力することで適合状況をチェック			

北方型住宅 2020 の場合の画面(イメージ)

「北方型住宅基準」の詳細や解説は技術解説書で確認

- ・2021年1月改訂版がダウンロード可能。
- ・北方型住宅 2020 以外の場合もココからダウンロード可能。

北方型住宅 2020 の場合は、画面上に「北方型住宅基準」(概略)を表示 ※基準を確認の上、適合状況をチェック

北方型住宅 2020 の場合は、基準適合の根拠資料を添付することで詳細な入力作業を簡略化

F☆☆☆☆等級相当以上の建材の使用の確認(施工状況)	住宅全体で F☆☆☆☆等級相当以上であることを確認し、建材の写真の添付は任意とする	使用した建材ごと(合板、断熱材、塗料など)に F☆☆☆☆等級相当以上であるかについて入力し、かつ、 各建材の写真の添付を必須 としている。	
住宅ラベリングシート	<p><1ページ目>(主に以下を明示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅や土地、事業者の概要 ・住宅の性能(きた住まいる基本性能等) ・きた住まいるブランド住宅の名称 <p><2ページ目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方型住宅基準(必須基準、推奨基準)への適合状況を一覧で明示 	<p><1ページ目>(主に以下を明示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅や土地、事業者の概要 ・住宅の性能(きた住まいる基本性能等) ・きた住まいるブランド住宅の名称 	

住宅ラベリングシート (2 ページ目)のイメージ

北方型住宅 2020 の場合は、「北方型住宅基準」(必須基準・推奨基準)への適合状況を一覧で確認できるシートが、住宅ラベリングシートとして出力されます。

■北方型住宅基準への適合状況		北方型住宅2020【介護配慮タイプ】	
必須：必須基準(基本的に備えるべき基準)		■ 適合している(配慮している)	
推奨：推奨基準(配慮を求める項目)		□ 適合していない(配慮していない)	
○住宅の性能等基準(4つの基本性能)			
項目	適否	基準の内容	
	必須	■	■
長寿命	1 高い耐久性	必須 ■	耐震性能 【耐震等級2】 構造躯体が極めて希に発生する地震力の1.25 倍の力に対して倒壊、崩壊等しない構造強度を確保している。
	必須 ■	劣化対策 【劣化対策等級3】 構造躯体等の耐久性の確保、劣化対策として外壁の軸組や土台の防腐措置、床下や小屋裏の換気措置といった措置を講じている。	
	推奨 ■	外装材の耐久性 外装の耐久性を向上させるよう、外装材の目を開放目地とする、耐候性の高いシーリング材を使用するといった対策を講ずるよう配慮している。	
	推奨 ■	間取り変更 生活様式や世帯の変化等に対応して、間取りの変更等に対応可能な平面計画、断面計画、構造計画及び設備計画を採用している。	
2 高い耐用性	必須 ■	間取り変更 生活様式や世帯の変化等に対応して、間取りの変更等に対応可能な平面計画、断面計画、構造計画及び設備計画を採用している。	
3 維持管理の容易さ	必須 ■	給排水管等の維持管理 【維持管理対策等級3】 給排水管等の維持管理対策として、構造躯体や仕上材に影響を及ぼさずことなく給排水管等の補修、点検、清掃等が可能な仕様となっている。	
4 高齢社会への対応	必須 ■	転倒防止 住宅内の移動等に伴う転倒、転落等を防止するため、部屋の配置、段差、階段、手すり、浴室等の広さ等について基本的な措置が講じられている。	
	推奨 ■	車いす対応 介助が必要となった場合を想定し、在宅介護や車いす利用が安全に行えるよう、階段、手すり、廊下等の幅員、便所や浴室の広さについて、基本的な措置が講じられている。<介護配慮タイプ>	
	推奨 ■	屋外アプローチ 積雪期に安全に移動できるよう、玄関までのアプローチの積雪、凍結の防止、アプローチでの転倒等の防止のための基本的な措置が講じられている。	
	必須 ■	ホルムアルデヒド対策 建築材料は、ホルムアルデヒドの発散による衛生上の支障がないものを使用している。	

※上記のほか、今回のアップデートでは、全般的に入力項目(入力を必須とする項目)を削減しています。